

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0001. ハヌマトの飛翔

0002. ハヌマトが見たランカー都城の景観

0003. 都城の守護神とハヌマトの争い

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0004. 都城内の光景

0005. ハヌマトは眠る都民のなかにシーターを見ず

0006. 貴人の邸宅を探し、羅刹王の宮殿に着く

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0007. 羅刹王ラーヴァナの宮殿にシーターを見ず

0008. 天車プシュパカ

0009. 羅刹王の宮殿群、羅刹王の女官たち

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0010. 宮殿に眠る羅刹王と王妃たち

0011. 酒宴の場にシーターを見ず

0012. 王城のいずこにもシーターを見ず

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0013. シーターを発見できないためのハヌマトの苦悶

0014. アショーカの森に行く

0015. シーターらしき女性を発見

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0016. シーターらしき女性を見たハヌマトの熟慮

0017. シーターを監視する羅刹女たち

0018. 羅刹王はシーターを訪れる

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0019. シーターの悲嘆

0020. ラーヴァナはシーターに女王になるようにと懇願する

0021. シーターの拒絶

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0022. ラーヴァナはシーターに猶予期限の残り二ヶ月を許す

0023. 羅刹女たちの忠告と脅迫 (一)

0024. 羅刹女たちの忠告と脅迫 (二)

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0025. シーターの嘆き (一)

0026. シーターの嘆き (二)

0027. 羅刹女トリジャターの見た夢

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0028. シーターの嘆き (三)

0029. シーターに現れた瑞兆

0030. ハヌマトはシーターに接近する方法を思案

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0031. ラーマを称讃する言葉でシーターに話しかける

0032. ハヌマトを見て不安になる

0033. ハヌマトとシーターの対話

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0034. シーターはハヌマトをラーヴァナと疑う

0035. ハヌマトはラーマの身体的特徴を述べる

0036. ハヌマトは証拠の品を提示する

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0037. シーターはラーマによる救出を依頼する

0038. シーターは指輪をハヌマトに託す

0039. シーターとハヌマトの対話

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0040. ハヌマト、シーターを慰める

0041. ハヌマトは武勇を示し、庭園を荒らす

0042. ハヌマトは羅刹軍（キンカラ）を蹴散らす

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0043. ハヌマトは神殿などを破壊する

0044. ジャンプマーリンを打ち倒す

0045. 羅刹の大臣の息子の七勇士を倒す

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0046. 羅刹の五最高司令官を倒す

0047. 羅刹王の王子アクシャの出撃と戦死

0048. インドラジトはハヌマトを捕縛する

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0049. ハヌマトは羅刹王を見て王の威光に驚嘆する

0050. 羅刹王の問い

0051. ハヌマトの忠告

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0052. ハヌマトを擁護するヴィビーシャナの進言

0053. ハヌマトは縛られたまま市中を引きまわされる

0054. ハヌマトはランカーの都を焼尽する

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0055. 都の焼尽への悔恨と明るい希望

0056. シーターに出発の挨拶

0057. ハヌマトは帰路につく

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0058. ハヌマトはアンガダたちに活動の詳細を報告する

0059. ハヌマトはシーターの救出を要請する

0060. 今後の行動についての協議

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0061. 猿たちは「蜜の森」（マドウの森）の蜜を飲む

0062. 猿たちと「蜜の森」の監視者との争い

0063. 王子たちは猿たちの任務の成就を推測する

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0064. ハヌマトたちはラーマの所に行く

0065. ハヌマトはシーターの発見を報告

0066. シーターの飾りの宝石を見たラーマの慕情

新訳 ラーマーヤナ (05) / [05] 優美の巻

0067. ラーマにシーターの言葉を伝える

0068. ハヌマトはシーターとの対話の詳細を告げる

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0001. ラーマは渡海の困難を憂える

0002. スグリーヴァ、ラーマを勇気づける

0003. ハヌマトはランカーの防備を報告し進軍を勧める

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0004. 全猿軍は進軍を開始して海岸に到着

0005. 海辺におけるシーターへの思慕の情

0006. ラーヴァナは防衛策の協議を命じる

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0007. 羅刹たちは戦闘を進言する

0008. 羅刹の勇士たちの高慢な意見

0009. ヴィビーシャナはシーターを返すことを進言する

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0010. ラーヴァナはヴィビーシャナの忠告を拒否する

0011. ラーヴァナは会議場に行く

0012. クンバカルナの戦う決意

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0013. かつてラーヴァナがプンジカスターから受けた呪詛

0014. ヴィビーシャナはラーヴァナの廷臣たちに反論する

0015. インドラジトの高慢な意見をヴィビーシャナは非難する

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0016. ヴィビーシャナはラーヴァナと訣別する

0017. ヴィビーシャナを受け入れることについての猿たちの意見

0018. ラーマの決断

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0019. 渡海の方策についてヴィビーシャナの進言

0020. ラーヴァナはシュカをスグリーヴァの所に派遣する

0021. ラーマは海神に架橋の援助を頼む

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0022. 海神の出現と架橋、猿軍は海を渡る

0023. 架橋時の前兆とラーマのランカー攻撃の決意

0024. 猿軍のランカーにおける配置

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0025. 羅刹王は探偵シュカとサーラナを派遣

0026. サーラナによる猿軍の指揮官の紹介（一）

0027. サーラナによる猿軍の指揮官の紹介（二）

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0028. シュカによる猿軍の指揮官の紹介

0029. ラーヴァナはシャールドウーラを探偵として派遣

0030. シャールドウーラの報告

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0031. ラーマの幻像を殺害してシーターに見せる

0032. シーターの嘆き

0033. 羅刹女サラマーのシーターへの友情

新訳 ラーマーヤナ (05) / [06] 戦争の巻

0034. 羅刹女サラマーはラーヴァナの計画を探る

0035. ラーヴァナの母方の祖父マーリヤヴァトの忠告

0036. マーリヤヴァトの忠告を拒否